



## 伊丹特別支援学校進路担当

2022年度も残り1ヶ月ほどとなりました。少しずつコロナウイルス感染対策も緩和されてきており、見学会や説明会等も実施させていただくことができ良かったです。しかし、まだまだ改善点等ありますので今後に生かしていきたいと思えます。

今年度も進路だよりを通して様々な情報をお届けしましたが、今号が今年度の最終号となります。1年間ありがとうございました。来年度もまた進路に関する情報を提供できればと考えています。どうぞよろしくお祈いします。今号では、2月の行事と今年度の取り組みについて振り返ってみたいと思えます。

## 2月実施 高等部 校内実習

2月1日～3日まで高等部1年生と2年生の一部の生徒は2回目の校内実習を行いました。今回の実習でも様々なことに取り組み、来年度につながる実習となりました。その様子を一部紹介します。



レジン作り



オープンラック作り



販売



修了証授与



## 今年度の取り組み

## 【ガイドブックの更新】

今年度で発行してから3年が経とうとしています。以前に今年新たに訪問させていただいた事業所の情報を紙で保護者の皆様に配付させていただきました。新たに増えた事業所の情報のみを配布させていただくことで、最新の情報を入手しやすくなり、より関心を持っていただけると考えております。来年度のガイドブックは、これまでのような冊子方式でのガイドブックではない方法で保護者の皆様に情報提供できるように進めていきたいと思えます。



## 【進路説明会】

今年度は3回（校内説明会1回、現地見学会2回）実施することができました。校内説明会では、『医療的ケアを必要とする重症心身障害児の福祉サービスについて』と題して行いました。本校では医療的ケアが必要な児童生徒が多く在籍しており、その子たちに必要な福祉サービスについて、また18歳になるまでの児童と18歳以上になる成人のサービスの違いについて話をいたしました。最後には、保護者の方々に悩みや思っていることなどを気軽に話ができる井戸端会議のようなスタイルも取り入れて実施しました。有意義な時間となりました。



現地見学会では、合計で7事業所にお世話になりました。保護者の皆様に現場の様子を直接見ていただくことで子ども達が今後どのような生活をしていくのか、スタッフさんとの関わりはどんな感じなのかということを目で見て感じていただける良い機会になったと思います。

## 【進路だより】

今年度は10回発行しました。最初は昨年度に引き続きQ&A方式をとり、皆様からいただいた質問に対する回答をいたしました。昨年度以上にご質問をいただきありがとうございました。その他にも年間行事に関することや高等部が取り組んだ校内実習、進路説明会、福祉合同説明会、そして障害者基礎年金の情報発信をいたしました。内容はいかがだったでしょうか。来年度に向けてこんな内容を聞きたいということがあれば、是非年度当初に実施しているQ&Aの際に教えてください。来年度も進路だよりを通して様々な情報をお伝えできればと考えています。よろしく願います。

## 【福祉合同説明会】

夏休みの1日目に開催しました。保護者や地域より多数の方に来校いただき、有意義な説明会となりました。今年度は、事業所で製品している物を販売していただいたり、事業所のキッチンカーが入ったりと昨年度と少し違った形での説明会となりました。福祉合同説明会は保護者の皆様自身が一度に多くの情報を収集できる良い機会だと考えています。来年度も開催の方向で検討していますので是非多くの保護者の方にご参加いただけることを願っています。



## 【その他】

新規事業所の開拓と、今までの事業所との連携を深める取り組みをしました。障害者雇用や特例子会社等就労についても様々ですが、少しずつ企業にも本校のことを知ってもらい、進路先の開拓に繋がっています。また高等部実習では、東京の会社とつながり、遠隔職場体験実習を実施しました。就労する上で在宅勤務というのも一つの手段です。多くの進路先と繋がることできれば保護者の皆様の選択肢も広がります。進路担当として、子ども達の実態に応じて様々な進路先を提案させていただきます。しかし、進路先の希望を決断するのは生徒自身と保護者の皆様になります。小・中学部の時から進路に関して興味を持ち、常にアンテナを張りながら様々な情報を収集して行ってください。それが必ず今後の役に立ちます。



今からでも遅くはない。

今からでも早くはない。



この言葉を合言葉にこれからもよろしく願います。1年間ありがとうございました。

進路担当 明石